

大鹿村騒動記 (2011)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 93分

初公開日 2011/07/16

公開情報 東映

映倫 G

【解説】

300年ものあいだ守り継がれてきた“村歌舞伎”が存在する長野県の小さな村“大鹿村”を舞台に、公演を5日後に控えた村で巻き起こる悲喜こもごもの騒動を原田芳雄主演で描くヒューマン群像コメディ。監督は「どついたるねん」「行きずりの街」の阪本順治。

長野県下伊那郡、大鹿村。南アルプスの麓に位置するこの小さな村は、300年以上の歴史と伝統を誇る村歌舞伎が自慢。シカ料理店を営む風祭善は、その大鹿歌舞伎の花形役者。しかし実生活では、かつて女房の貴子に逃げられて以来、寂しい一人暮らしの日々。そんな中、村ではリニア新幹線の誘致を巡って喧々囂々、公演が5日後に迫っても、善以外はなかなか稽古に身が入らない。するとそこへ、貴子が駆け落ち相手の治と一緒に戻ってきた。しかも治は、認知症を患った貴子を持って余し、善に返すと言いつつ出すのだが…。

【クレジット】

監督 阪本順治

企画 阪本順治

原案 延江浩

脚本 荒井晴彦

阪本順治

撮影 笠松則通

主題歌 忌野清志郎 『太陽の当たる場所』

録音 照井康政

照明 岩下和裕

出演 原田芳雄

大楠道代

岸部一徳

松たか子

佐藤浩市

富浦智嗣

瑛太 Eita

石橋蓮司

小野武彦

小倉一郎

でんでん

加藤虎ノ介

